

徳島県 剣道道場連盟

◆加盟団体数 2
◆会長 坂下彦之
◆事務局 〒772-0004
徳島県鳴門市撫養町木津472
TEL&FAX 088-685-0703

徳島県剣道道場連盟の加盟道場はわずか2道場と少なく、その中で活発に活動している鳴門市光武館道場が毎年、全道連主催3月の合宿・体験・実践発表、書道展などに参加、出展を続けている。体験・実践発表では過去に3名が全国最優秀賞を受賞した実績を持つ。

道場ファイル 5

鳴門市光武館道場

徳島県剣道道場連盟 登録番号2

◆設立	1969年
◆館長	寺西明弘五段
◆副館長	佐伯守夫五段 ◆初心者指導 寺西ひとみ四段
◆所在地	徳島県鳴門市撫養町大桑島字津岩浜38-5
◆連絡先	TEL&FAX 088-685-0703
◆稽古日・時間	火・木曜日18時30分～20時30分 土曜日17時30分～19時30分

寺西杯争奪近県選抜少年剣道大会の予定

平成24年10月7日に開催予定の寺西杯争奪近県選抜少年剣道大会は、第15回記念大会となる。

参加希望チームはハガキに、住所、チーム名、代表者、電話番号を記載の上、7月10日までに以下へお送り下さい。折り返し、大会案内状を送付します。

〒772-0004

徳島県鳴門市撫養町木津472 寺西明弘宛

◆第14回(平成23年度)寺西杯優勝チーム

小学校低学年の部 砂山少年剣友会(和歌山)
小学校高学年の部 京都太秦少年剣道部(京都)
中学校男子の部 乙島剣道スポーツ少年団(岡山)
中学校女子の部 光龍館(香川)

昭和44年、旧鳴門警察署道場で署員の寺西慶裕氏が鳴門少年剣道クラブを創設。その後、鳴門警察署が移転になり、使用していた道場が使えなくなったために当時の父兄、OBが一丸となって署名運動を行ない、道場の建設を鳴門市に対し熱心に陳情した。昭和55年、ついに念願が叶って剣道専用道場として現在の鳴門市剣道場(光武館道場)が建設された。

平成10年には寺西慶裕初代館長の功績をたたえ12月23日に第1回寺西杯争奪少年剣道大会が開催された。第8回寺西杯大会の前日に亡くなった慶裕館長は生前、道場で子どもたちに、「常に感謝の気持を忘れず、将来、社会に貢献できる人になれ」

と口癖のように話し、とくに礼儀に対しては厳しく教えた。現在は息子の明弘氏が遺志を引き継ぎ、33名の少年剣士の指導に当たっている。

現在の大会は四国はもとより、遠くは愛知、滋賀、京都などからも参加があり、250を超えるチームが出場する大会となって毎年盛大に開催されている。

また道場は、徳島県道連盟加盟道

場事務局の役割も担い、県内道連登録は2道場のみと少ないが、少年剣道普及に尽くしている。

さらにボランティア活動では昭和60年から毎年、年末に幼少年消防クラブとして、鳴門市内を「たばこの投げ捨て火事のもと」「子供の火遊び火事のもと」「火の用心」と大声で連呼し、拍子木を鳴らしながら注意を呼びかける活動も行なっている。そのほかにも鳴門市戦没者追悼少年剣道大会の前後には、鳴門市戦没者の忠魂碑の清掃も行なうなど地域貢献に努め、これらを通じて少年少女剣士の健全育成を図っている。

日々の稽古は館長をはじめ、指導陣9名で基本練習に重点を置く。初心者指導については初代館長の夫人が担当、一人一人に丁寧な指導を行なっている。

内容は次のようなもの。

- 準備運動、素振り、タイヤたたき練習、すり足で50分
- 基本打ち45分
- 指導者にかかり稽古15分
- 追い込み練習10分



平成22年11月28日に開催された第13回寺西杯争奪近県選抜少年剣道大会開会式

光武館指導者一同



毎年、年末に幼少年消防クラブとして防火活動を行なっている



少年部会員一同



79歳の寺西ひとみさんが初心者指導を担当する